

第 118 回 TECOM 模擬試験

下記の点について誤りがございましたので、お詫びとともに訂正いたします。

■第 4 回■

□A 問題 23；解説書 p.33：正解に変更はありません。(2024.1.12)

症例文 【誤】 ～両側管内胆管の拡張を認める。

↓

【正】 ～両側肝内胆管の拡張を認める。

□C 問題 20；解説書 p.215：正解に変更はありません。(2023.12.22)

選択肢 【誤】 d 多剤併用を防ぐことができる。

↓

【正】 d 重複処方を防ぐことができる。

□C 問題 21；解説書 p.215：全員正解にいたします。(2024.1.17)

本問は、内視鏡的粘膜切除術の前に休止する必要がある薬剤を問う問題です。選択肢 c 「ビグアナイド」の作用は糖新生抑制であるため、単体では低血糖を起しにくいことから正答としておりました。しかしながら、実臨床では、ビグアナイドも休業とする場合が多く、「休止する必要がない」とは言い切れないと考えられます。したがって、本問は問題設定不備として全員正解といたします。

混乱をお招きしましたことをお詫び申し上げます。

□C 問題 74；解説書 p.279：全員正解にいたします。(2024.1.31 更新)

本問は、ループス腎炎患者に用いる治療薬を選ぶ問題であり、選択肢 b 「リツキシマブ」を正答としておりました。しかしながら、リツキシマブの適応は“既存治療で効果不十分なループス腎炎”であり、本症例のような未治療の時点での投与は適切とはいえませんでした。本問は適切な選択肢がない設問となっておりましたため、全員正解といたします。

混乱をお招きしましたことをお詫び申し上げます。

□D 問題 52；解説書 p.370：正解に変更はありません。(2024.1.12)

プラスワン 【誤】 大動脈解離の初期対応では、まず「解離がこれ以上広がらないようにする」ことが最優先であり、直ちに降圧を開始する。ガイドラインによって差はあるが、可及的速やかに収縮期血圧 120mmHg 程度まで降圧する。Ca 拮抗薬（ニカルジピン）や、超速効型β遮断薬（ランジオロール）などを選択する。なお、大動脈解離の疼痛管理による血圧上昇を避けるため、強力な鎮静薬（フェンタニルなど）を併用する。

↓

【正】 大動脈解離の初期対応では、まず「解離がこれ以上広がらないようにする」ことが最優先であり、直ちに降圧を開始する。緊急手術までに、Ca 拮抗薬やβ遮断薬で降圧、モルヒネなどで鎮痛を行う。

□D 問題 64；解説書 p.394：正解に変更はありません。(2024.1.17 更新)

症例文 【誤】 ～アンチトロンビン活性 54% (基準 8～130)。

↓

【正】 ～アンチトロンビン活性 54% (基準 80～130)。

□E 問題 33；解説書 p.452：正解に変更はありません。(2024.1.17 更新)

基礎知識 【誤】 疫学：我が国では第 1～4 期に分けているが～

↓

【正】 疫学：我が国では第 1～3 期に分けているが～

□F 問題 11；解説書 p.490：正解に変更はありません。(2024.1.17)

問題文 【誤】 Which of the following may cause a deficiency in breastfeeding?

↓

【正】 Which of the following may be deficient in breastfeeding?

□F 問題 74；解説書 p.571：全員正解にいたします。(2024.1.12)

本問は、急性好酸球性肺炎患者において認められない所見を問う問題でしたが、症例および選択肢の設定が不十分な個所があり、正答を導き出すことが極めて難しくなっておりました。したがって、本問は問題設定不備として全員正解といたします。

混乱をお招きしましたこととお詫び申し上げます。